

2018年12月26日

記者各位

出光興産株式会社

ベトナム ニソン製油所は 商業運転開始を祝うセレモニーを開催しました

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:木藤 俊一 以下、当社)と、三井化学株式会社(本社:東京都港区、社長 淡輪 敏)、クウェート国際石油、ペトロベトナムとの合弁会社である「ニソンリファイナリー・ペトロケミカルリミテッド(以下 NSRP)」は、ニソン製油所の商業運転開始を祝うセレモニーを開催しましたのでお知らせいたします。

ニソン製油所は、2018年11月14日より商業運転を開始致しました。20万バレル/日の原油処理能力を有する精製装置から、旺盛なベトナムの燃料需要に向けて安定供給しています。この度、以下の通りセレモニーが開催されました。

1. 日時

2018年12月23日(日) 14時30分～16時30分

2. 場所

ベトナム タインホア省ニソン経済区 ニソンリファイナリー・ペトロケミカルリミテッド
ニソン製油所

3. 来賓

(1) 各国政府来賓

ベトナム : グエン・スアン・フック首相、ファン・ミン・チン政治局員、
グエン・バン・ビン政治局員、チン・バン・チエン タインホア省党委書記

日本 : 林幹雄 衆議院議員(自由民主党幹事長代理、日ベトナム友好議員連盟
幹事長代理)、宮内秀樹 衆議院議員(自由民主党副幹事長)
梅田邦夫 在ベトナム日本国大使館特命全権大使
南亮 資源エネルギー庁資源・燃料部長

クウェート: ナビル・ブルースリ クウェート国際石油社長

(2) スポンサー各社

当社 : 木藤俊一 社長
クウェート国際石油 : アハメド・ベベハニ 会長
ペトロベトナム : チャン・シィ・タイン会長
三井化学 : 松尾英喜 専務

4. 来場者数

約1,000人(主催者 NSRP 推計)

5. 式典来賓スピーチ、コメントについて

フック首相からは

「ニソン製油所はベトナムの経済、社会、政治、安全、国防に大きく貢献する事業であり、商業運転開始によりベトナム国内の石油製品需要の80%を賄うことが出来るようになった。ベトナム人技術者の実力向上にも繋がってきており、これは今後の石油精製・石化産業の発展に大きな役割を果たすことになるだろう」とのスピーチがありました。

林衆議院議員(日ベトナム友好議員連盟幹事長代理)は、

「日越外交関係樹立45周年という記念すべき年に、ニソン製油所の商業運転開始を迎えたことは日越友好議員連盟として誠に嬉しい。

互いの絆を大切に、助け合う精神が根付いているこのタインホアで、ベトナム・クウェート・日本の3か国が互いに手を携え、協力し、事業を推進していくことは極めて意義深い。今後は、ニソン製油所がタインホア省の経済、雇用に大きな役割を果たすとともに、ベトナムの成長を支えていくことを強く期待する。日越友好議員連盟としても、両国の一層の関係強化の為に引き続き全力を尽くす」と祝辞を述べられました。

NSRPを代表して石田社長(当社から出向)からは、出席者の皆様への謝辞、タインホア省はじめ全てのステークホルダーへの感謝の思いをお伝えするとともに、製油所立ち上げに大きく貢献したベトナム人従業員を誇りに思う気持ちを語りました。

さらに、今後も安全・環境保全・製品品質を維持しつつ、ベトナムのエネルギー保障、経済へ貢献することを通じて、成長し続けることを約束する、と伝えました。

同式典終了後、当社 木藤社長は参列した関係者に、

「足掛け14年かかってこの日を迎えることが出来た。ニソン製油所は必ずやベトナムのエネルギーの安定供給、ベトナム国民の生活に必ずプラスになると信じており、これからも安全、安定操業に努める。石油製品を自国で生産、安定供給できることで、ベトナムの経済成長に寄与する事業と考えている。」

とのコメントを発表しました。

以上

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報室広報課 (高木) TEL : 03-3213-3115

URL <http://www.idemitsu.co.jp>

【参考資料】



【スピーチする NSRP 石田 真太郎社長】



【中央フック首相、左から 5 番目 林衆議院議員、左から 2 番目 当社木藤社長】



【安定運転を続けるニソン製油所】

【ニソン製油所概要】

(1)所在地

ベトナム社会主義共和国タインホア省ニソン経済区

(2)事業総額

約90億米ドル(内 約40億米ドルがスポンサー負担額で当社負担額約14億米ドル)

(3)出資比率

当社35.1%、クウェート国際石油35.1%、ペトロベトナム25.1%、三井化学4.7%

(4)主な装置構成

- ・常圧蒸留装置(トッパー):20万バレル/日
- ・重油直接脱硫装置:10.5万バレル/日
- ・重油流動接触分解装置:8万バレル/日
- ・芳香族製造装置(パラキシレン):70万トン/年

【位置図】

